

【科目名】理学療法技術学Ⅱ（中枢）		【担当教員】高橋明美
【授業区分】 専門分野(特論)	【授業コード】 3-20-0745-0-2	(メールアドレス) <a href="mailto:akemi.t@nur.ac.jp">akemi.t@nur.ac.jp</a>
【開講時期】4 年次前期	【選択必修】選択	(オフィスアワー) 月～木 8:30～17:30 金 13:00～17:30
【単位数】1	【コマ数】8	
<b>【注意事項】</b> (受講者に関わる情報・履修条件) 実技を行う時は、実技の行いやすい服装で挑むこと (受講のルールに関わる情報・予備知識) 配布資料、参考書等での復習をしておくこと		
<b>【講義概要】</b> (目的) 脳卒中に対する理学療法を展開できるようにする。その上で近年脳画像所見から戦略的に理学療法を展開していく傾向にあり、その一連の流れについて理解することを目的とする。 (方法) 症例を提示しながら、グループワークや実技を中心に講義を進める		
<b>【一般教育目標(GIO)】</b> 脳卒中に対する理学療法を展開していく上で、脳画像を理学療法治療プログラム立案のツールとして活用し、より戦略的に理学療法が実施できるようにすることを目的とする。また、科学的根拠に基づいた理学療法を展開するために、クリニカルリーズニング（臨床推論）について理解する。		
<b>【行動目標(SBO)】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種脳画像の特徴と見方が説明できる</li> <li>2. 脳画像所見から臨床症状を予測し、理学療法治療プログラムを立案することができる</li> <li>3. 立案した理学療法治療プログラムを実施できる</li> <li>4. 各時期別にアプローチが選択でき、実施できる</li> <li>5. 障害別アプローチについて理解し、実施できる</li> <li>6. クリニカルリーズニングに基づいた理学療法を説明できる</li> </ol>		
<b>【教科書・リザーブドブック】</b>		
<b>【参考書】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>④ 吉尾政春・他：標準理学療法学，専門分野，神経理学療法学，医学書院，2013.</li> <li>⑤ 原寛美・他：脳卒中理学療法の理論と技術，メディカルビュー，2013.</li> <li>⑥ 大畑光司・他：理学療法テキスト，神経障害理学療法学Ⅰ，中山書店，2015.</li> </ol>		
<b>【評価に関わる情報】</b> (評価の基準・方法) 本学学則規程の GPA 制度に従う。 筆記試験およびレポートにより総合的に評価する。		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】		試験	小テ スト	レポ ート	成 果 発表	実技	ポートフ ォリオ	そ の 他	合計
総合評価割合		70	0	10	20	0	0	0	100 点
評 価 指 標	取り込む力・知識	○							
	思考・推論・創造の 力			○	○				
	コラボレーションとリーダー シップ				○				
	発表力				○				
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授 業 の 運 営 方 法		学修課題(予習・復習)				時間(分)	
1	講義概要の説明 脳画像の活用	講義・演習		(予習) 脳の機能解剖について予 習 (復習) 配布資料や講義の内容を まとめる				30	
2	脳画像からの戦略的アプ ローチー急性期を中心に ー	講義・演習		(予習) 脳画像と臨床症状につい て予習 (復習) 配布資料や講義内容のま とめ				30	
3	クリニカルリーズニング (臨床推論) に基づくア プローチの方法	講義・演習		(予習) 事前に配布する資料を読 んでおく (復習) 配布資料や講義の内容を まとめる				30	
4	皮質脊髄路障害に対する クリニカルリーズニング	講義・演習		(予習) 皮質脊髄路の経路と障害 について予習 (復習) 配布資料や講義の内容を まとめる				30	
5	視床障害に対するクリニ カルリーズニング	講義・演習		(予習) 脳の局在と臨床症状につ いて予習 (復習) 配布資料や講義の内容を まとめる				30	
6	高次脳機能障害に対する クリニカルリーズニング	講義・演習		(予習) 脳の局在と高次脳機能に ついて予習 (復習) 配布資料や講義の内容を まとめる				30	
7	症例を提示	演習		グループで不明な点や調べたこと				30	

平成 26～28 年度入学者用

	1～5 までの作業を行い まとめて発表		を確認し、共有する	
8	発表	演習	グループで不明な点や調べたこと を確認し、共有する	30
試験				

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。